

## 事業の基礎情報

事業実施地域	香川県多度津町
人材育成の対象	自治体職員・多度津町民
人材育成の手法	令和5年度事業で作成した「事業シート」等を活用し、無作為抽出で選出した町民を中心に議論する「自分ごと化会議(住民協議会・事業レビュー)」を開催する。
人材育成の内容	町民を巻き込んでこれからの地域の公共交通を考えるコーディネーターができる人材(自治体職員)及び公共交通や街づくりを自分ごととして考え提案できる人材(町民)の育成を行う。
想定育成人数	自治体職員10名・多度津町民20名

## 取組の概要

## (現状の地域課題と事業目的)

香川県多度津町では、高齢者向けの福祉施策としてタクシーチケットの配布や住民同士の共助交通への支援を行ってきたが、継続的な財源確保やドライバーの確保に課題を抱えている。また、町民や議会から新たな公共交通の提供を望む声があり、潜在的な需要の把握も課題として残る。一方、町主体ではこれまで公共交通を整備しておらず、課題の優先順位づけ、最適な施策の検討が進まず議論が停滞している。そこで今回、(株)パブリックテクノロジーズ・(一社)構想日本との連携のもと、「自分ごと化会議(住民協議会・事業レビュー)」を開催し、無作為抽出・選定した町民を含めた形で公共交通における課題の確認や現状への共通認識をとり、町が取り組むべき公共交通の施策について協議・提案を行う。

## (事業の概要)

本事業は、令和5年度共創モデル実証プロジェクト「人材育成事業」からの継続事業として取り組む。今年度は、町が取り組むべき公共交通の施策について、無作為抽出で選定した町民を中心に普段生活の中で感じていることを基に議論する「自分ごと化会議(住民協議会・事業レビュー)」を複数回開催する。開催にあたっては、多度津町が現在実施している事業の目的や根拠法令、財源内訳などを整理した「事業シート(昨年度事業で作成)」の紹介、公共交通の有識者による事例紹介等を通じて、参加者へ町の公共交通の現状への共通認識も図る。

## 取組の詳細

### (事業により見込まれる効果)

無作為抽出の手法を取り入れることで、これまで行政の仕事に声をあげなかった人や、関心はあったが参加するきっかけがなかった人などの多様な声を聞くことができ、より多くの町民の意見を取り入れた具体的な公共交通の手法をまとめることができる。また、これらの議論を適切に進めることができるコーディネート人材の育成、町の取り組みを「自分ごと」として考えることができる町民の相互育成を可能とする。

コーディネーター人材 の育成	自治体職員	10名
	町民	20名

### (事業実施手順・スケジュール)

担当	工数	5-6月	7-8月	9-10月	11-12月	1-2月
パブリックテクノロジーズ 構想日本・多度津町	実施内容の事前確認、 公共交通に関する有識者の選定 育成する町民の無作為抽出・選定	○				
パブリックテクノロジーズ 構想日本・多度津町	自分ごと化会議(住民協議会、事業レビュー) の実施		○	○	○	○
パブリックテクノロジーズ 構想日本・多度津町	報告会の実施					○
パブリックテクノロジーズ 多度津町	住民アンケートの実施		○			
パブリックテクノロジーズ	効果測定・実績報告					○

### (補助事業実施後の予定)

本事業で育成したコーディネーターを中心に、町の新たな公共交通の形態を具体化していくとともに、次年度以降に実証事業等の実施を目指す。